

MYTS (Mizukami Youkou Technical Service)

WingNEO Q&A
－解決にお役立ちBook－

MYTS Member Service

目次

Excel WordのNeoデータ利用方法

- 1. エクセルの座標リストをWingNeo座標リストに貼り付けたい Page1
- 2. エクセル・ワードのデータをCADに貼り付けたい Page2
- 3. WingNEOのCADデータを、Excel Wordに貼り付けたい Page3

データ処理

- 1. 現場データ自動バックアップの設定 Page4
- 2. 現場データ自動バックアップの復帰 Page5
- 3. 作業中のCADデータのバックアップ設定 Page6
- 4. CADデータのバックアップ復帰 Page7
- 5. トラバース計算で平均縮尺係数を考慮したい Page8
- 6. 区画で中抜き(ドーナツ型)の入力方法 Page9
- 7. 測量計算などで新点が発生する場合、座標の電算番号を最終点番ではなく空番にしたい Page10
- 8. 図枠・求積表・部品・条件などを他のPCでも使用したい。(バックアップでファイル保存) Page11
- 9. 図枠・求積表・部品・条件などを他のPCでも使用したい。(リストアでファイル保存) Page12

CAD変種 便利な機能

- 1. CAD上の文字検索 Page13
- 2. 座標の検索 Page14
- 3. 連続線を配置しているときに1点前の状態に戻したい Page15
- 4. 文字編集で文字をつかむと文字の大きさ(色)が変わってしまう Page16
- 5. 図枠を配置しているが出力されない。 Page17
- 6. 文字の下線を白抜きにしたい。 Page18

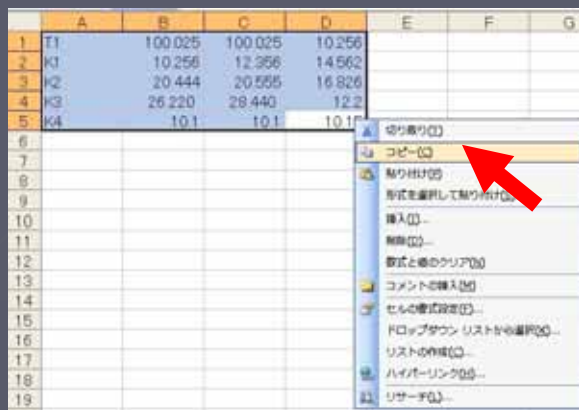
トラブル処理

- 1. インクジェットに出力すると画面にない線が印刷される Page19

エクセルの座標リストをWingNeo座標リストに貼り付けたい

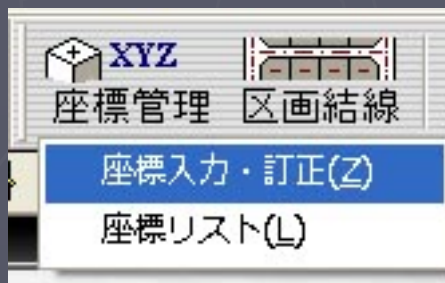
対応バージョン 4・5・6・7

①エクセルの座標リストを表示し、WingNEOに入力したいリスト部分を選択します。[Shiftキーを押しながら範囲選択]



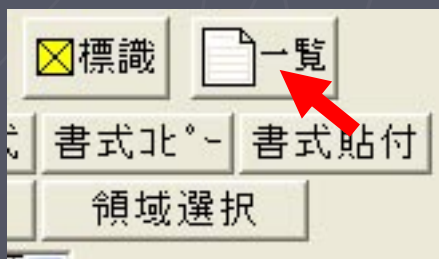
②右クリックで[コピー]をクリックします

③WingNeoの座標管理
→座標入力訂正をクリック



④貼り付けたい入力欄の場所をクリックします。

⑤画面右端の[書式設定]をクリックします。



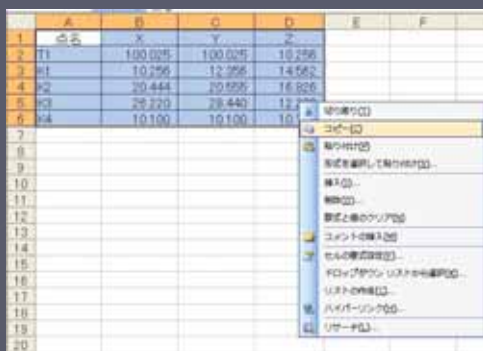
⑥エクセルの座標が貼り付けられます

No.	先頭ベクトル	点名	X座標	Y座標	標高	注
1	T1		100.025	100.025	10.256	
2	K1		10.256	12.356	14.562	
3	K2		20.444	20.555	16.826	
4	K3		26.220	28.440	12.200	
5	K4		10.100	10.100	10.150	
6						
7						
8						
9						
10						

エクセル・ワードのデータをCADに貼り付けたい

対応バージョン 4・5・6・7

①エクセル・ワードの画面で、必要な部分を選択して、右クリックでコピーをします。



②WingNEOのCADで、編集→貼り付けをクリック

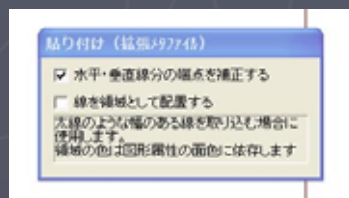


③貼り付け方法の選択です

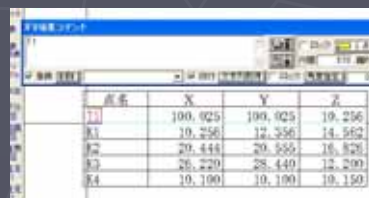
ピクチャーデータ→画像で登録
拡張メタファイル→線・文字データに変換



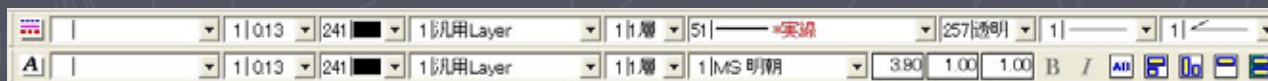
*拡張メタファイルを選択すると
水平垂直線分の端点を整合するに
チェックを入れると表罫線の端点を
整合します



④拡張メタファイルで貼り付けた文字線は、
文字編集・線編集可能です



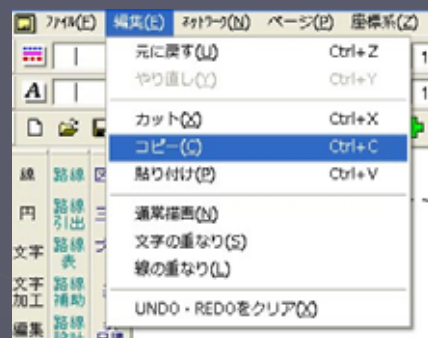
*貼り付ける場合の線種文字は属性
バーに連動します



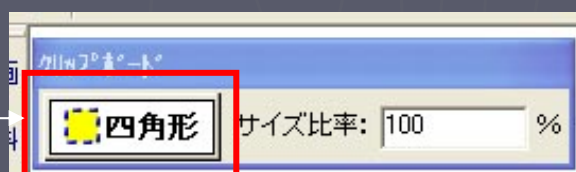
CAD図形をエクセル・ワードのデータに貼り付けたい

対応バージョン 4・5・6・7

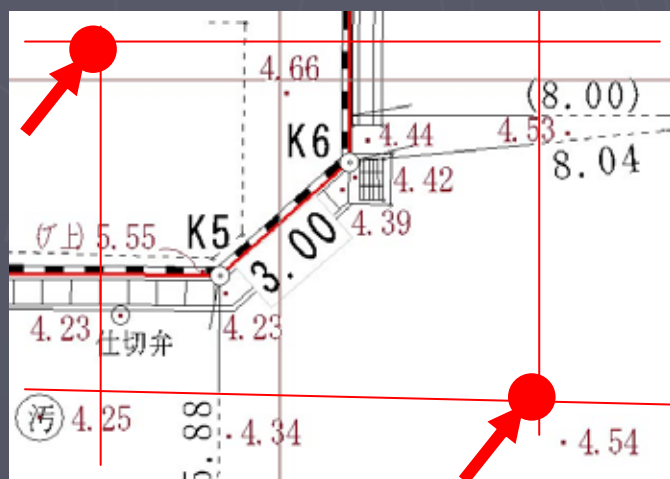
①WingNEOのCADで、編集→切り取りをクリック。
コピーをクリックすると図面全体を貼り付けることになります



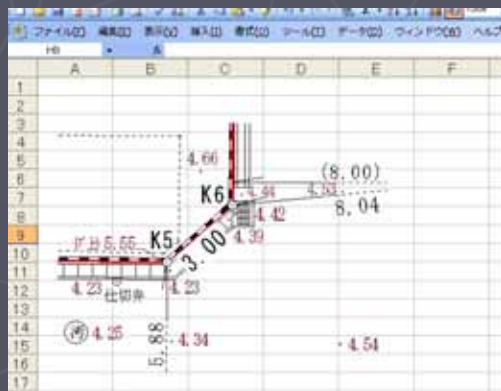
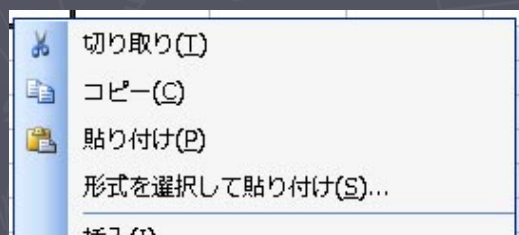
②貼り付けたい図形領域を、[四角形]・[円形]・[多角形]より選択



③貼り付けたい図形の領域をクリックします



④拡張メタファイルで貼り付けた文字線は、文字編集・線編集可能です

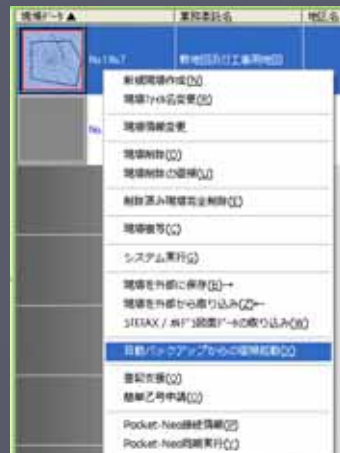


現場データ自動バックアップの設定

対応バージョン 3・4・5・6・7

①現場管理を開きます

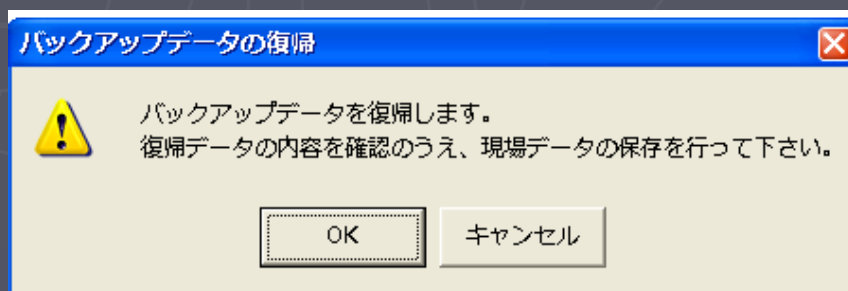
②自動バックアップから復帰させたい現場名上で右クリックし、
[自動バックアップからの復帰起動] にはいります。



③次津バックアップからの復帰起動画面が表示されますので、復帰したいバックアップファイルを選択して、OKをクリックします。



③ [バックアップデータの復帰] が表示されますので、OKをクリックすると現場が復帰します



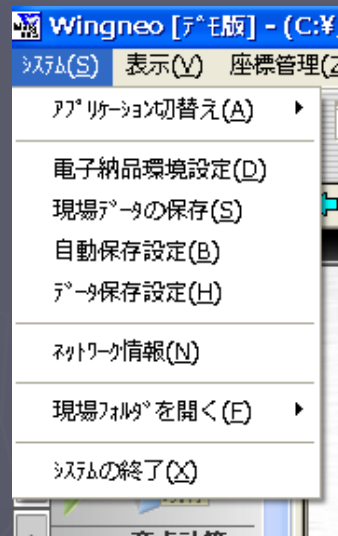
このバックアップは、現場ルートデータ (座標・区画・ワーク) のみです。CADは、Page8へ

現場データ自動バックアップの復帰

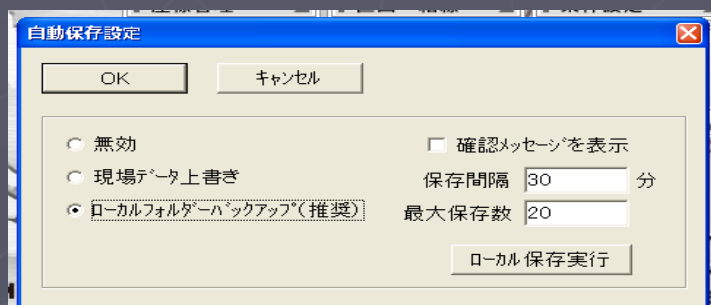
対応バージョン 3・4・5・6・7

現場データの自動バックアップを
設定します

①システム→自動保存設定



②自動保存設定の画面が表示されます、「ローカルフォルダバックアップ (推奨)」にチェックを入れます。



③確認メッセージ表示保存間隔の設定を行い、[OK] で設定が完了

このバックアップは、現場ルートデータ (座標・区画・ワーク) のみです。CADは、Page8へ

作業中のCADデータのバックアップ設定

対応バージョン 3・4・5・6・7

バージョン 3・4・5

- ①CAD画面で [設定] → [自動書き込み] をクリックします
- ② [自動書き込み設定] 画面が表示されますので、[自動書き込みを行う] にチェックを入れます。[書き込み間隔] を入力 [自動書き込みのとき確認を行う] を設定し、OKをクリックします。

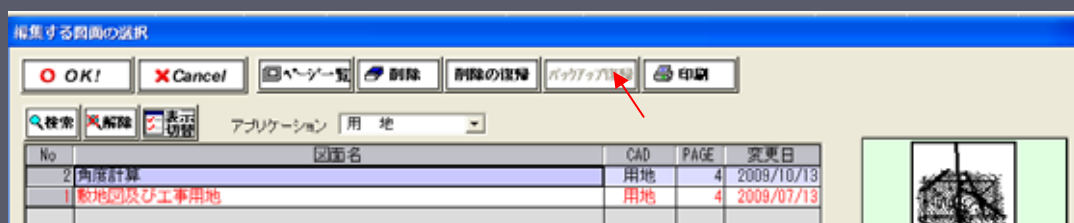
バージョン 6以降

- ①CAD画面で [環境設定] → [システム設定] をクリックします
アプリケーションの動作設定をクリック
- ②起動終了読み込み書き込み内の [自動書き込みを行う] に自動書き込みの確認を行うにチェック。バックアップの履歴回数を設定します (最大10回)

CADデータのバックアップ復帰

対応バージョン 4・5・6・7

①CAD画面で [ファイル] → [開く] をクリック



②編集する図面の選択画面が表示されます

③バックアップ復帰をクリックします

*バックアップ復帰ボタンがグレーの場合バックアップデータがありません

④バックアップデータの一覧を表示。

⑤復帰したいデータクリックします。

トラバース計算で平均縮尺係数を考慮したい。

対応バージョン 4・5・6・7

<その1>

①現場情報設定の[平均縮尺係数]に数値を入力します。



<その2>

①割込計算をクリックして平均[縮尺係数計算 (F)]をクリックします。

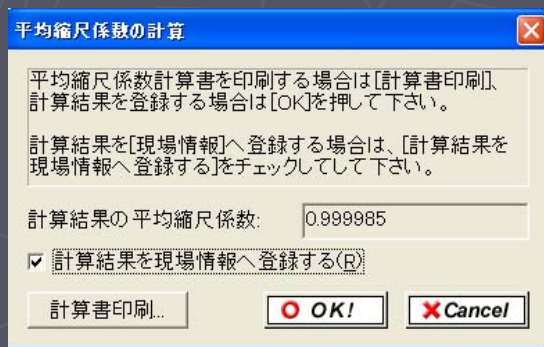
②座標系欄に座標系番号を入力します。

③点名の欄に既知点を入力します。

既知点座標を登録していると、
X座標、Y座標、標高縮尺係数は
自動で表示されます。

④[平均縮尺係数] ボタンをクリックします。

⑤平均縮尺計算結果画面が表示されますので「計算結果を現場情報へ登録する」のチェックを入れて[OK]をクリックします。



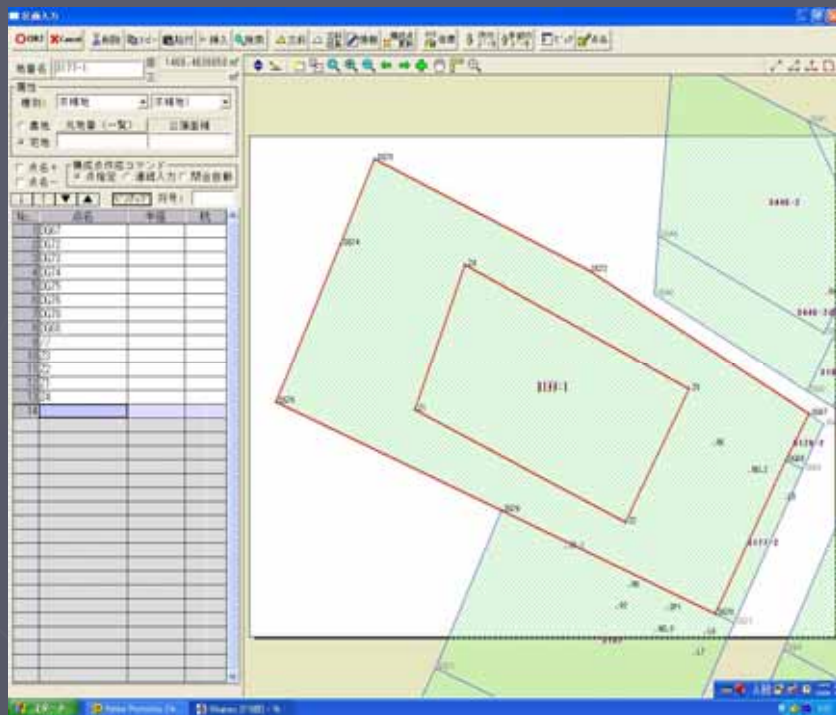
区画で中抜き (ドーナツ型) の入力方法

対応バージョン 4・5・6・7

<その1>

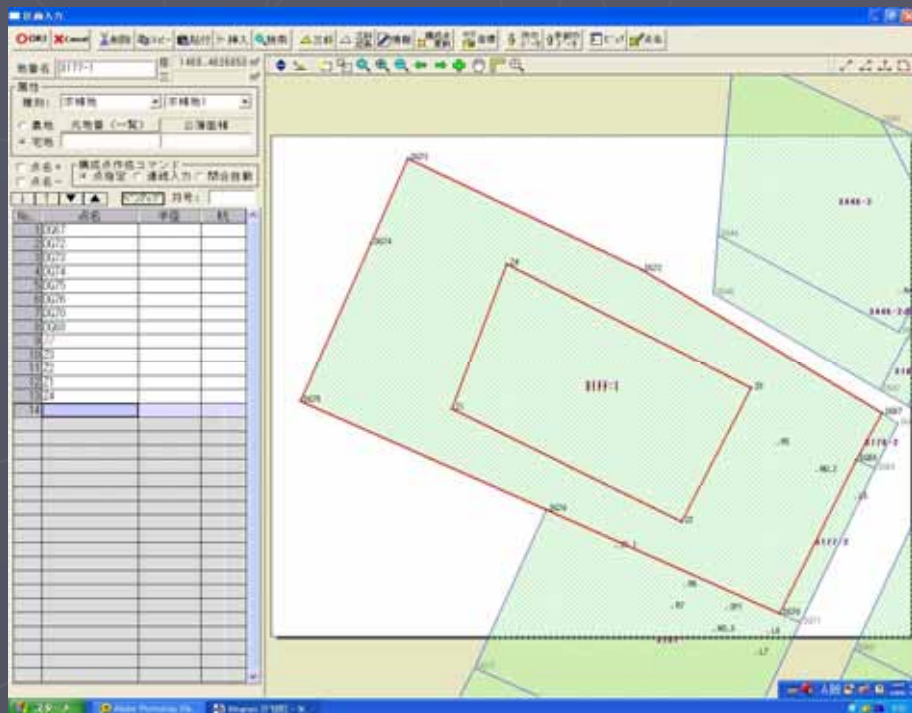
中抜きの構成点を入力する前に「//」を入力します。

中抜き区画は反対まわりで入力します。



<その2>

一筆書きで入力できます。

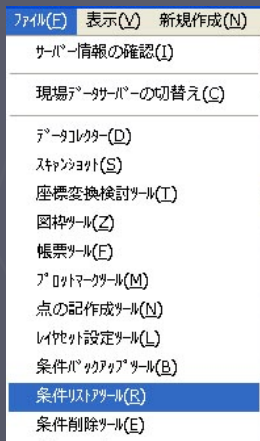


図枠・求積表・部品・条件などをほかのPCでも使用したい。 (バックアップでファイル保存)

対応バージョン 4・5・6・7

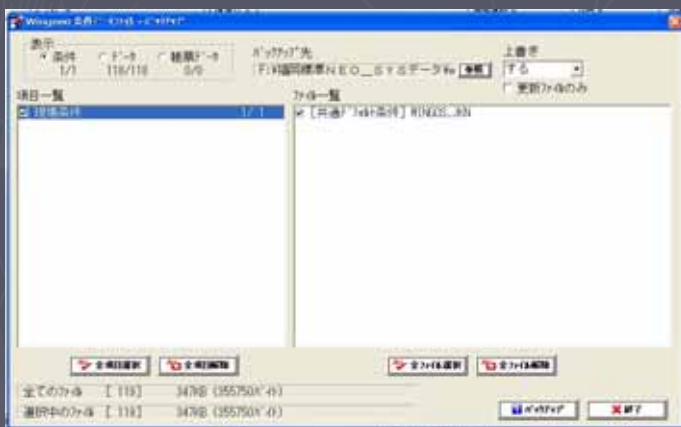
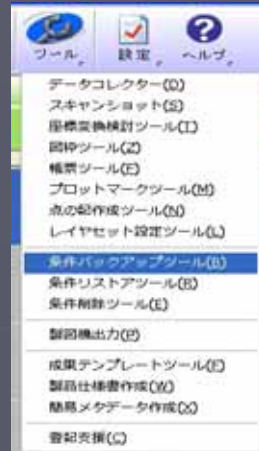
<Ver.4.60以前、および
現場管理の場合>

① [ファイル] - [条件バック
アップツール] をクリックし
ます。



<WingFan!の場合>

① [ツール] - [条件バックアップ
ツール] をクリックします。



② 保存したい「条件」「データ」「帳票データ」にチェックし、[参照] をクリックして保存先を指定します。

(初期値はすべてを保存するようになっています。)

③ [バックアップ] をクリックすると、指定した場所に各種データ・条件が保存されます。



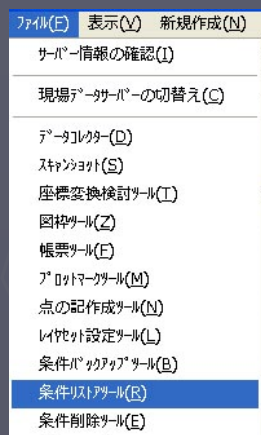
※保存先には、リムーバブルディスクや共有ドライブが便利です。

**図枠・求積表・部品・条件などをほかのPCでも使用したい。
(リストアでファイル読み込み)**

対応バージョン 4・5・6・7

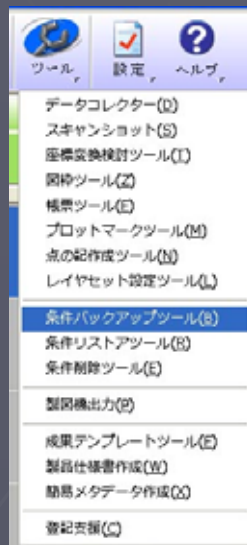
**<Ver.4.60以前、および現場
管理の場合>**

**① [ファイル] - [条件リストア
ツール] をクリックします。**



<WingFan!の場合>

**① [ツール] - [条件リストアツ
ール] をクリックします。**



**② [参照] をクリックして条件
バックアップファイルのある場
所を指定します。**

**(参照の場所は、前回保存し
た場所になっています。)**

**③ [リストア] をクリックすると、指定した場所から各種データ・条件を読み込
みます。**

図枠を配置しているが出力されない。出力するには？

対応バージョン 4・5・6・7

<Ver.5以前>



図枠配置したときにグレイ表示 [△] になっていませんか？

[設定] - [簡易描画設定] で図枠のレイヤを [○] に変更します。

<Ver.6以降>



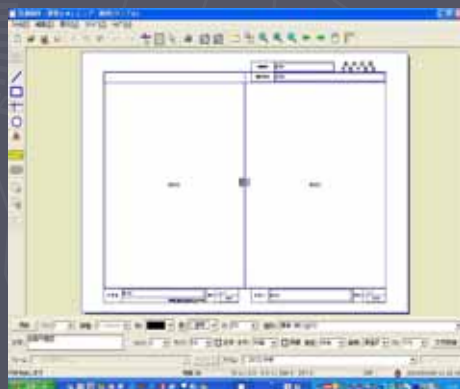
Ver.6以降では、表示設定に名前を付けて保存できるようになっています。

① [図面設定] - [データ簡易描画設定] をクリックします。

② [新規追加] をクリックし、条件名称入力を行い、設定をします。

③ [更新] をクリックして保存します。

※毎回出力したい場合には、図枠ツールで変更することもできます。



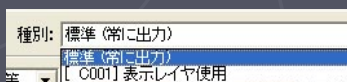
① [ツール] - [図枠ツール] をクリックします。

② 編集したい図枠を選択します。

③ マウスで全体を囲った後、種別を [標準 (常に出力)] から [表示レイヤ使用] に変更します。

④ 上書き保存します。

(図枠配置しただけですべての要素が出力できるようになります。)



測量計算などで新点が発生する場合、座標の電算番号を
最終点番ではなく空番に登録したい。

対応バージョン 4・5・6・7

①[条件設定]-[座標区画
登録設定]をクリックします。



座標区画登録設定

☒ OK! ☐ Cancel

新規座標登録番号

☒ 空き点番 ☐ 最終点番

新規区画登録番号

☒ 空き地番 ☐ 最終地番

☒ 同一名称チェック

求点座標又は区画登録時に、同一名称が存在した場合に、確認ダイアログを表示します。

②座標区画登録画面が開きますので[新規座標登録番号]の[空き点番]を選択して[OK]をクリックします。

画面右の



もしくは、文字検索をクリック

Ver5.0以前

- ①検索したい文字を入力します
- ②OKを押します
- ③検索された文字が表示され図面上赤で表示されます。
文字をクリックすると、拡大表示されます。

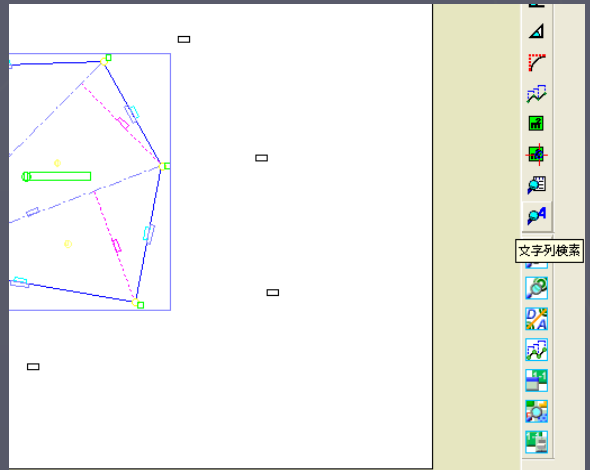
Ver6.00以降

- ①検索したい文字を入力します
- ②OKを押します
- ③検索された文字が表示され図面上赤で表示されます。
文字をクリックすると、拡大表示されます。

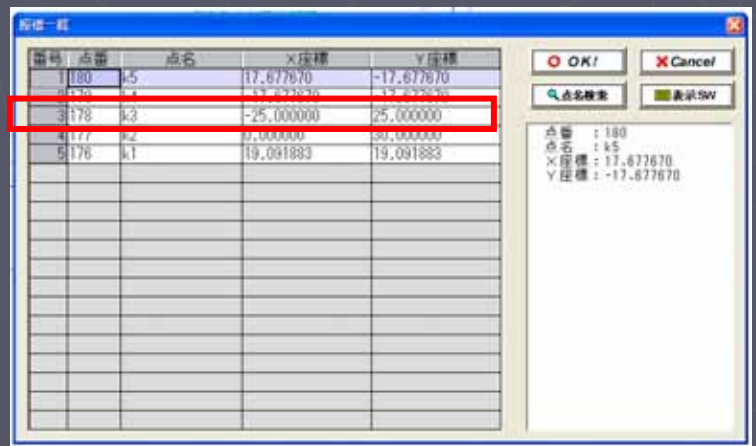
検索された図形を拡大表示するか・連続して検索することも可能になりました。

①画面右の  もしくは、プロット確認をクリック

②図面上の空間 (図形がなにも無いところ) をクリックします

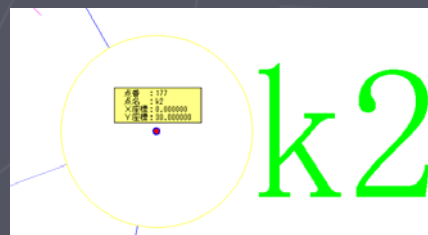


③現在の図面にプロットされている座標リストが表示されます



④検索したい点名をクリックして OK をクリックします。

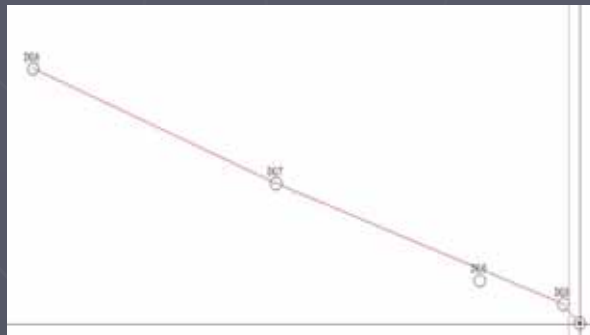
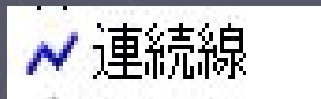
⑤選択された座標が拡大表示されます。



連続線を配置しているときに1点前の状態に戻したい。

対応バージョン 4・5・6・7

連続線や特殊線の指定中に配置場所を間違えた場合、キーボードの [Shift] を押しながら右クリックで1点前に戻すことができます。



※ [Shift] キーは他にも機能があります。

- ◎ [Shift] キーを長押ししながら連続線や特殊線を作成すると45度刻みで角度を固定することができます。

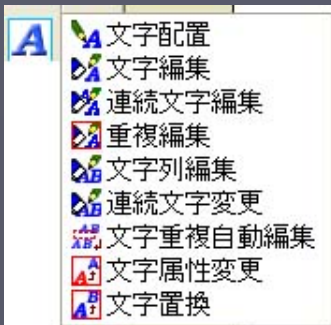
- ◎ [Shift] キーの長押しは、引き出し文字の角度を45度刻みで固定する場合にも使用します。(水平に配置したい場合も [Shift] キー長押しとクリックで指定できます。)

- ◎ [Shift] を押しながら図面上の図形・文字をクリックすると、図形属性条件が指定した図形の条件に変わりますので、図形属性を同じにしたい図形・文字をそのままクリックすると図形属性を指定したものに更新することができます。

文字編集で文字をつかむと文字の大きさ(色)が変わってしまう。

対応バージョン 4・5・6・7

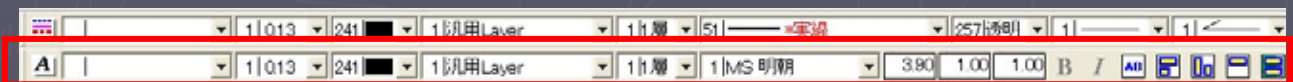
WingNeoでは文字属性バーの条件で簡単に文字を作成できるようになっています。文字編集を行う際に文字属性を変更したくない場合には、文字編集コマンドにある「文字属性ロック」のチェックを外す必要があります。



- ① [文字] - [文字編集] をクリックします。
- ② 「文字属性ロック」のチェックを外します。

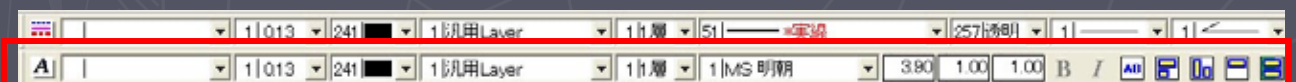


「文字編集ロック」にチェックが入っていると条件に合わせて文字条件が変更されます。



現在の状態を確認するには

文字のサイズやフォント、線種、レイヤーなどを確認したいときには、[Shift] キーを押しながらマウスで図形をクリックすると、選択した図形の属性がバー条件に表示されます。



[Shift] を押しながらクリックするとその図形の状態を表示します。

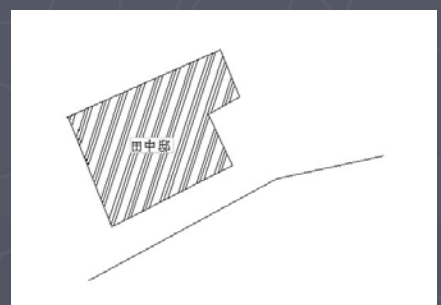
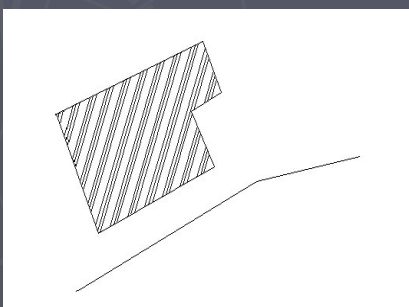
文字の下の線を白抜きしたい。

対応バージョン 4・5・6・7

①文字配置する時、文字条件の装飾を [四角] にして、「白抜き」にチェックを入れます。



②下になる線分は配置されている層よりも2つ以上上の層に設定します。
(1層が一番下で数値が大きくなるほど上の層になります。)



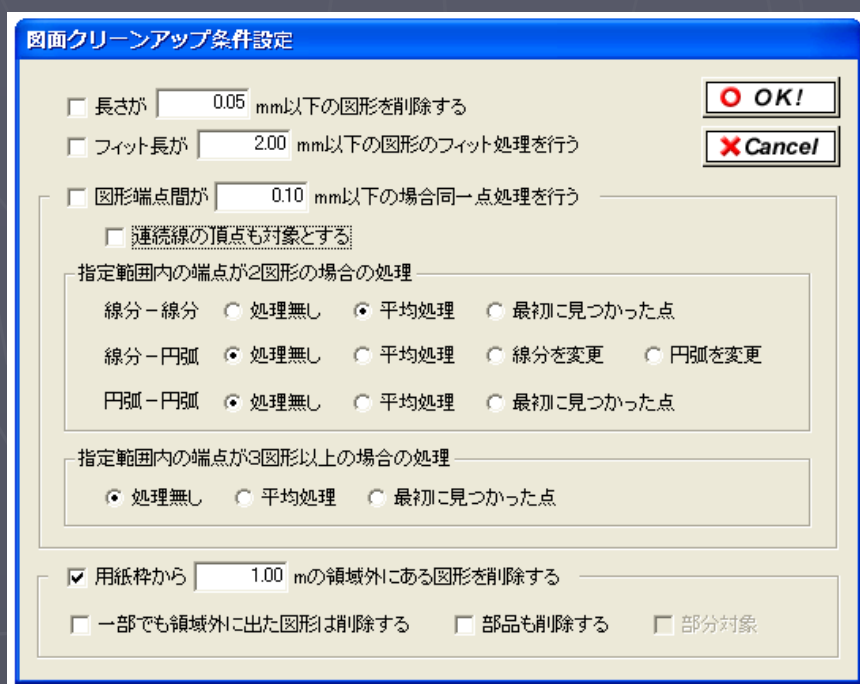
白いシールの上に文字を書いて貼り付けるようなイメージで表示されます。
隠れた線分などの図形は無くなっているわけではありません。

インクジェットに出力すると画面にない線が印刷される

対応バージョン 4・5・6・7

斜めに出る線や複数の方向に画面に無い線が印刷される場合は、出力範囲を超えたところに線・点などがあり出力時にエラーを起こしている場合があります。図面からはみ出した余分なデータを削除すれば解決します。

- ①加工・修正内の、[図面のクリーンアップ] を選択
- ② [用紙枠から〇〇mの領域以外のある図形を削除するの項目に、値を入力しチェックを入れます。
- ③OKをクリックします



図面クリーンアップ条件設定

☐ 長さが 0.05 mm以下の図形を削除する

☐ フィット長が 2.00 mm以下の図形のフィット処理を行う

☐ 図形端点間が 0.10 mm以下の場合同一点処理を行う

☐ 連続線の頂点も対象とする

指定範囲内の端点が2図形の場合の処理

線分－線分	☐ 処理無し	☒ 平均処理	☐ 最初に見つかった点	
線分－円弧	☒ 処理無し	☐ 平均処理	☐ 線分を変更	☐ 円弧を変更
円弧－円弧	☒ 処理無し	☐ 平均処理	☐ 最初に見つかった点	

指定範囲内の端点が3図形以上の場合の処理

☒ 処理無し	☐ 平均処理	☐ 最初に見つかった点
---------------------------------------	----------------------------	---------------------------------

☒ 用紙枠から 1.00 mの領域外にある図形を削除する

☐ 一部でも領域外に出た図形は削除する ☐ 部品も削除する ☐ 部分対象

OK! Cancel

クリーンアップで図面外のデータが削除され、画面上にない線分を印刷しないようになります。

上記を行っても解決しない場合は、部品に登録して他の新しい図面を作成するか？インクジェット目詰まり等をチェックして下さい。

現場が呼び出せない この現場は利用できないのメッセージ

対応バージョン 4・5・6・7

- ①他の現場を読み込み、何もせず終了する。呼び出せない現場の鉛筆マークが無くなれば解除されてます。

この方法で解決しない！

- ②社内のWingNEOの利用を全て終了します。

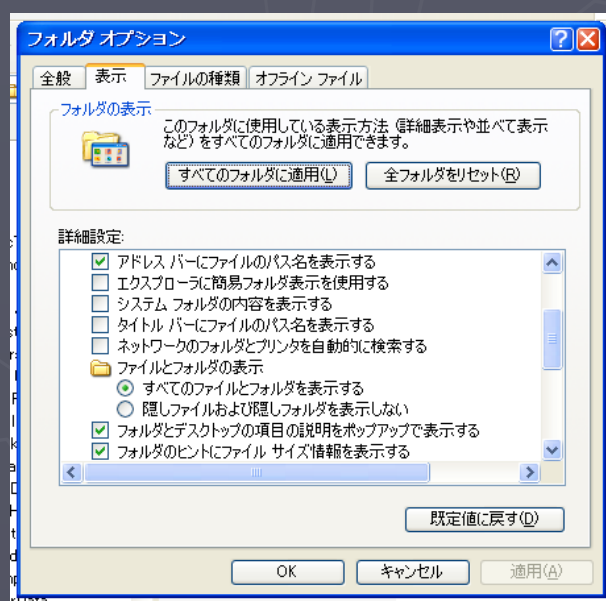
- ③Windows エクスプローラーを起動

- ④WingNEOのデータサーバーのフォルダー内の「execstat.inf」を削除します。

上記ファイルは隠しファイルなので、下記の方法で、隠しファイルを表示する設定を行って下さい。

- ①データフォルダーを表示している画面で、ツール→フォルダオプション→表示タブ

- ②ファイルとフォルダ表示内の、「全てのファイルとフォルダを表示する」にチェックをいれます。



「WingFan」と「現場管理」の切り替え

対応バージョン 5・6・7

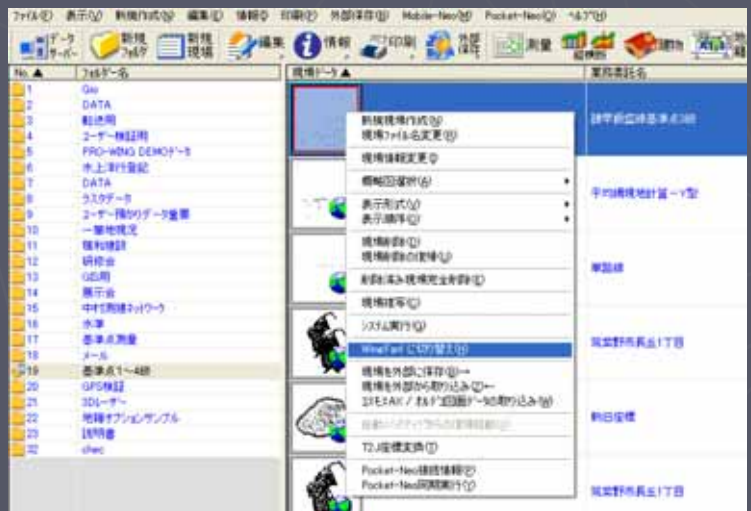
① [WingFan] から「現場管理」の切り替え方法

「設定」→「現場管理の切り替え」をクリックすると現場管理に切り替わります。



② 「現場管理」から「WingFan」への切り替え方法

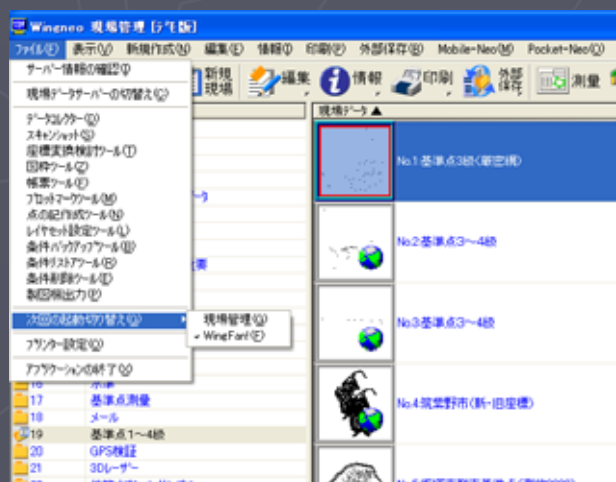
現場管理画面の現場データ側でマウスの右ボタンを押すと右図の表示になりますので、「WingFanへ切替え」をクリックしてください。



③ 「現場管理」・「WingFan」起動時の選択方法

現場管理画面の時は「ファイル」→「次回の起動切替え」でどちらかを選択して下さい。

WingFan画面の時は①と同じ「設定」から「共通設定」に入り、画面最下部の「次回から現場管理を起動する」にチェックを入れ終了する。



WingNEO CAD メニュー ショートカット一覧

メニュー	キー	動作
ファイル	[Ctrl] + [N]	[ファイル] - [新規作成]
	[Ctrl] + [O]	[ファイル] - [開く]
	[Ctrl] + [S]	[ファイル] - [上書き保存]
編集	[Ctrl] + [Z]	[編集] - [元に戻す]
	[Ctrl] + [Y]	[編集] - [やり直し]
	[Ctrl] + [X]	[編集] - [カット]
	[Ctrl] + [V]	[編集] - [貼り付け]
移動	[Ctrl] + [↑]	ズームしている時にズーム領域を上へ1画面分移動
	[Ctrl] + [↓]	下へ移動
	[Ctrl] + [←]	左へ移動
	[Ctrl] + [→]	右へ移動
	[↑]	コマンド中にカーソルを上へ移動 (ピッチ分)
	[↓]	下へ移動
	[←]	左へ移動
	[→]	右へ移動
	[Shift] + [↑]	コマンド中にカーソルを上へ移動 (ピッチ分×10倍)
	[Shift] + [↓]	下へ移動
	[Shift] + [←]	左へ移動
	[Shift] + [→]	右へ移動
ヘルプ	[F1]	ヘルプ

スナップ	[F2]	フリースナップ
	[F3]	端点スナップ
	[F4]	交点スナップ
	[F5]	中点スナップ
	[F6]	線上スナップ
	[F7]	垂線スナップ
	[F8]	接線スナップ
	[F9]	定点スナップ
	[F10]	グリッドスナップ
	[F11]	円中心スナップ
	[F12]	プロットマークスナップ
ビューコントロール	[C] または [Home]	ビューの表示切替
	[Z]	ビューの拡大
	[PageUp]	ビューの2倍拡大
	[PageDown]	ビューの1/2縮小
	[D]	ビューのドラッグ移動
割り込み計算	[Shift] + [F12]	割り込み計算 (2点間・3点間・垂線の足・面積計算 ・交点計算・2円の交点計算)

